

五島市図書館友の会だより

第 19 号(2021.3 月)

図書ボランティアしませんか？

読書は、子供の表現力・創造力を豊かにするものです。

ほとんどの家庭が共働きで「図書ボランティアしませんか？」と声掛けしても、仕事・家事・子育てと自分の時間すらないのに、ボランティア活動となると敬遠される保護者が多いと思います。子育て真っ最中の保護者に限らず、少しでも本に興味のある方は是非、参加してほしいと思います。

子育ては自分育ての大切な時期です。私は 3 人の子育てと仕事をしながら図書ボランティアを長年続けて来たおかげで、たくさんの経験をする事が出来ました。

今では廃校になった山内小学校で 2004 年、米どころの山内らしい名前でお米の銘柄の一部を頂き「ミルクキーの会」が発足されました。

メンバー 10 名中 9 名が全く読みきかせ経験のない素人ばかりでした。

「ミルクキーの会」のモットーは「頑張りすぎずに楽しみながら」決して無理をせず、出来る人が出来る範囲で活動する。その言葉があったから私はこれまで長年続けられたと思います。

私自身仕事の都合で途中、朝の「読みきかせ」の参加が出来なくなりました。

しかし空いた時間を利用して製作担当へと変わりました。

年に一度の「図書祭り」では「ミルクキーの会」自作紙芝居や人形劇、年を追うごとに原爆に



関する平和学習や、養護の先生と打ち合わせをして「食育」に関する紙芝居、五島に残る昔話の掘り起こしをして、子どもたちにわかりやすい表現に変えて、各地区の昔話紙芝居製作に関わってきました。

また長年ボランティア活動を続けてきたおかげで
2020年10月「五島むかしばなしを楽しむ会」から
「五島弁カルタ」の絵・制作依頼を受けるチャンス
を頂きました。

五島弁をイメージする46枚の絵をすべて、私に任
せていただいたおかげで楽しく自由に書かせていただく
ことが出来ました。

これまでの図書ボランティア活動で、私は沢山の宝物を得る事が出来ました。

- ・ 沢山の絵本に出会えたこと
- ・ 授業参観では見る事の出来ない、わが子の学校の様子が見られたこと
- ・ 島外研修へ参加してスキルアップができたこと
- ・ 他校での学習発表会やおはなし会にも参加して交流が出来たこと
- ・ 多くの図書ボランティアメンバーに出会えたこと、など。

数年前、成人した山内小学校の卒業生から「おばちゃん、本屋さんでさ、ミルクキーの会で
読んでもらった絵本を見たとき、この本、おもしろかったなって思い出したよ」って声掛け
してもらったことがありました。心に残る一冊ってあるんだと思うと、とても嬉しく思いま



した。

「ミルクキーの会」では7年間の「読みきかせ」のリスト

を『ミルクキーものがたり』と題し冊子に残しました。

7年間で全学年を通して1,519冊の本を読んでいた。

一人の子供が入学して卒業するまで読んでもらった本、

1,000冊を超えるとはすごいことだと思います。

図書ボランティアって地味な活動かもしれませんが、

大切な役割をもった活動だと思います。

島の子供たちは、私たち大人の宝物です。

子供の表現力・創造力を豊かにする為にも「図書ボランティアしませんか？」

大島 眞由美（図書館友の会会員）リレーエッセイ 18

アートの広場 展示紹介



令和3年2月1日～3月13日

第8回「しおりコンクール」発表

市内の幼児から大人まで288名の

応募がありました。

11名の「しおり大賞」と

60名の「いいね賞」が選ば

れました

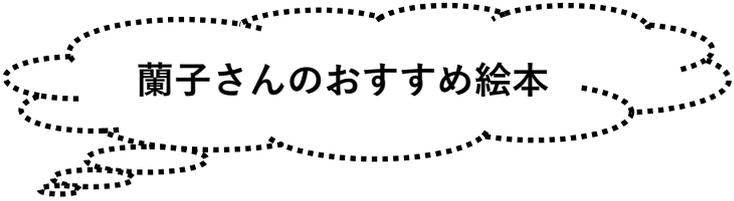
(主催：子どもの本ネットワーク

協議会 五島っ子)

写真は図書館のホームページより

その時の課題や趣味の書・絵画・俳句など市民の皆様にご協力いただき2ヶ月交替で、
図書館内玄関横に「アート広場」と題し図書館友の会が担当し展示をしています。展
示をしてくださる方を募集しています。

図書館 (72-6900) か役員・市川 (090-9723-8793) まで



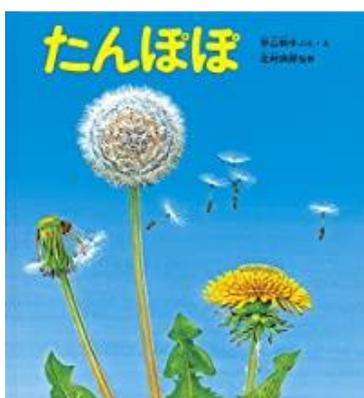
蘭子さんのおすすめ絵本

その3

絵本は一生の友達です

『だんごむし』 今村 光彦 アリス館

新入生を迎えるこの時期よく読み聞かせる絵本です。
指で突つくと丸くなって動かなくなるだんごむし。
しばらくすると、やわら動き出し、素早く逃げるだんごむし。子供達はこの虫が大好きです。この絵本を読み始めると、子供達は大喜びして目を輝かせます。
変身物が大好きな幼い子供達にとって、だんごむしは身近にいる変身する虫なのでしょうね。



『たんぽぽ』 平山 知子 福音館書店

『だんごむし』と合わせて面白いのが『たんぽぽ』
この絵本の作家さんは実際にたんぽぽの根っこが
どんなふうになっているか穴を掘って調べたそうです。

そうして書かれた絵本は迫力満点。好奇心いっぱいの
子供達にもっと多くの科学絵本を手渡したいです。

科学絵本といえば加古里子さん。『かわ』『よわいかみつよいかたち』『はははのはなし』『宇宙』『むしばミュータンスのぼうけん』等々数多くの作品を残されています。ぜひ、子供達と一緒に楽しみください。



図書館友の会会員 武藤 蘭子

新図書館建設に向けて←皆様のご意見をぜひお寄せください

近頃、70も過ぎると新図書館完成と、私のあの世からの呼びとどちらが早いかしら、と冗談ではなくフト思ってしまう。そんなこんなで図書館建設について最近、感じたこと3点。

- 五島テレビでこの3月議会の一般質問を見ました。ある議員が「公園の遊具について整備を！」と質問され市長が「新図書館でのおはなし会なども…」と答えておられました。

「子どもを連れて行くところがない」とは確かによく聞く話です。広い児童コーナーでおはなし会はもちろん、「本の広場」で親子で過ごす、そして本を借りて家で楽しいひとときを過ごす。子どもにとってそんな時間がもっともっと、あればいい、と思います。

- 新図書館に金をかけるならコロナに（以前は医療・福祉に）という話を聞きました。

これは、いかにも建設費用が現在、市役所に在る、と勘違いされています。詳しいことは、ぜひ教育委員会にお尋ねしてほしいのですが、建設費用のほとんどは国からの、「図書館を建てる」という理由での過疎債です。内容や名称や各種条件等などは変更があるでしょうが」もちろん五島市としての出費はあります。

- 頼もしい友達2人（女性）が、この冬、イノシシを解体し、イノシシ肉を持ってきてくれました。解体は「じいちゃんに聞いたと？」と聞くと「図書館の本を見て、やった」とのこと。新図書館の郷土資料コーナーには五島で実際に役立つ本をもっと置いてほしい

と思います。とにかく今は狭すぎて。イノシシ肉は鍋・フライ・シチューに変身。おもったより臭いはなく、部位にもよるでしょうが脂身も少なく、年寄りには良いかも？



と思った次第です。

友の会事務局 坂井 淳

新館建設ニュース

コロナ等で当初の予定より遅れて

いますが、令和3年4月以降に着工...

毎月月末・図書館休館日に

展示や簡単な作業をします

4月30日(金)・6月1日(水)

図書館友の会ホームページ

<https://gototosyokantomo.jimdo.com/>

ご意見をお待ちしています（担当：古賀）

編集後記

今年は桜の時期が早いとか。でも市内のあちこちで「山笑う」風景に心がワクワクします。

2年後の春には図書館新館完成とともに笑いたいものです。図書館建設がのびのびになり長

崎の「サグラダファミリア」になりませんように。

K・S